

地域学校協働活動啓発資料

「あなたのまちをディー・アイ・ワイ (D. I. Y)」 の活用について



京都府教育委員会では、『地域学校協働活動』を地域の方々に知っていただき、自主的に参画していただく方を増やしていくことを目的として、地域学校協働活動啓発資料を作成しました。

「ディー・アイ・ワイ (D. I. Y)」とは、「Do it yourself (自分でやる)」の略で、幅広い地域住民が自ら、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する『地域学校協働活動』に、それぞれの立場に応じて参画していただくきっかけとなることを目的としています。

「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」「ステップアップ」の4段階で構成しています

ホップ



今までほとんど学校や児童生徒に関わる活動に参加されていない方に対して、「『できるときにできること』をやってみよう。」と思えるきっかけになるよう、「登下校の見守り」や「図書室や花壇の整備」を例として紹介しています。

これらの活動が、参加された方の「やりがい」「生きがい」になり、「自分が元気になる」ことにつながっていけばと考えています。



ステップ



学校の授業や放課後学習等、より多くの機会に「子どもと活動したい」と思われる方に、「授業中」や「放課後」、「土・日」の具体的な活動を紹介しています。

自分が活動することが、「子どもが元気」「学校が元気」になることにつながる喜びを感じていただきたいと思います。



ジャンプ



現在、地域学校協働活動などにスタッフとして参画している方に対して、「学校」と「地域」、「人」と「人」をつなぎ、「したいこと」「できる場所」「人材」をコーディネートする、地域コーディネーターとして活動してみようと思うきっかけとして、具体的な活動や、連携する団体を例示しています。

自分や学校、子どもたちだけでなく、「地域が元気になる」「地域を元気にする」という視点で参画していただきたいと考えています。



ステップアップ

現在、地域コーディネーター等をしている方に、社会教育法に明記された地域学校協働活動推進員として、学校運営にも参画していただきたいと考えています。

「地域や学校をもっと元気に」するためには、地域と学校が話し合うことが重要だということを示しています。



- ※ P T Aや地域住民向けの研修会等で活用してください。
- ※ このリーフレットは、より多くの地域住民の方々が、まずは「ホップ」の段階から「何かしてみよう」、さらに「ステップ」の段階で「子どもと活動してみよう」と思ってもらえることを第一の目的としています。また、地域学校協働活動に参画した方には、地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員として、学校運営にも参画してもらうことを最終的な目的としています。
- ※ 『地域学校協働活動』について、より多くの地域住民に知ってもらうためにぜひ活用してください。
- ※ 研修会等でリーフレットが必要な場合には、京都府教育庁指導部社会教育課までお問合せください。
(TEL : 075-414-5886)



ホームページに掲載しています。

京都府教育庁指導部社会教育課ホームページ⇒



問合せ：京都府教育庁指導部社会教育課 Tel 075-414-5886